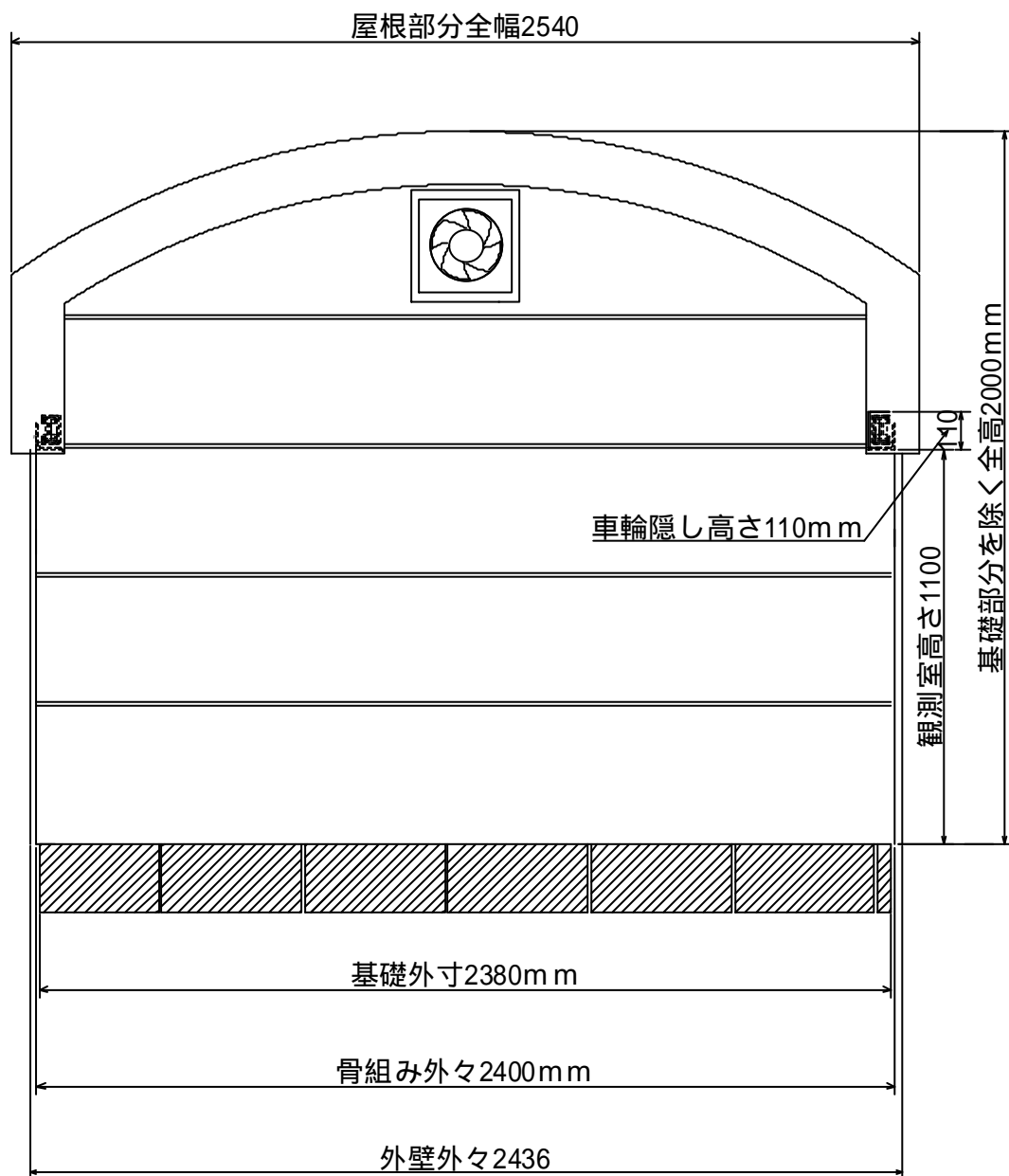
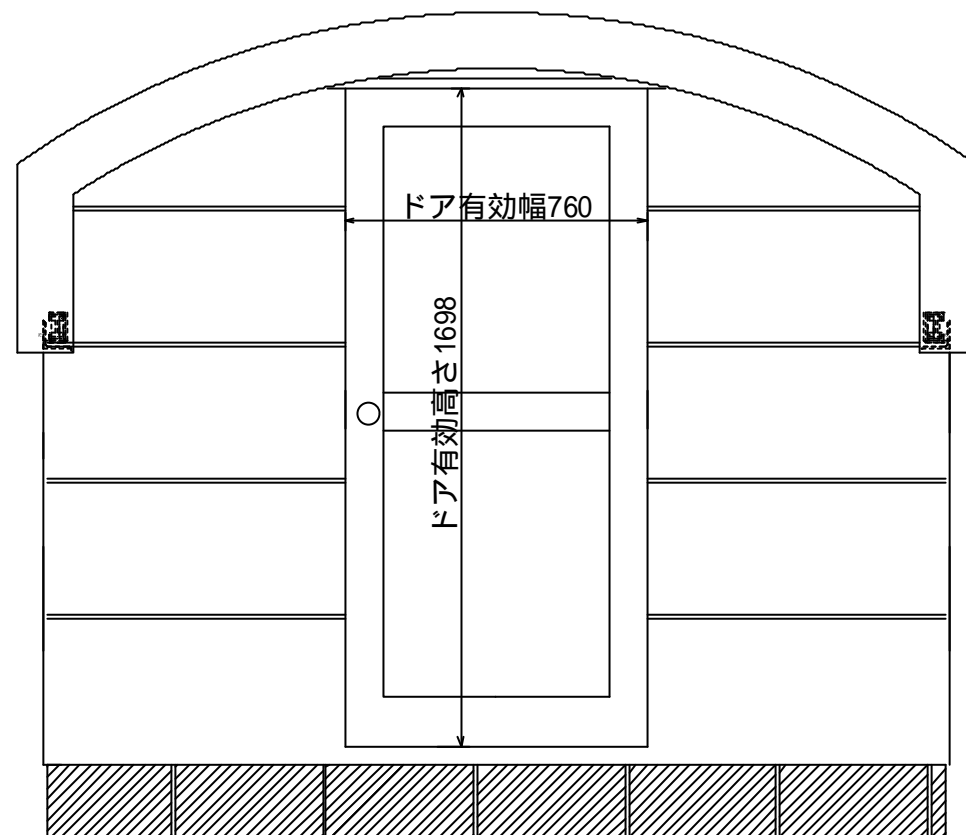


換気扇側から見た図

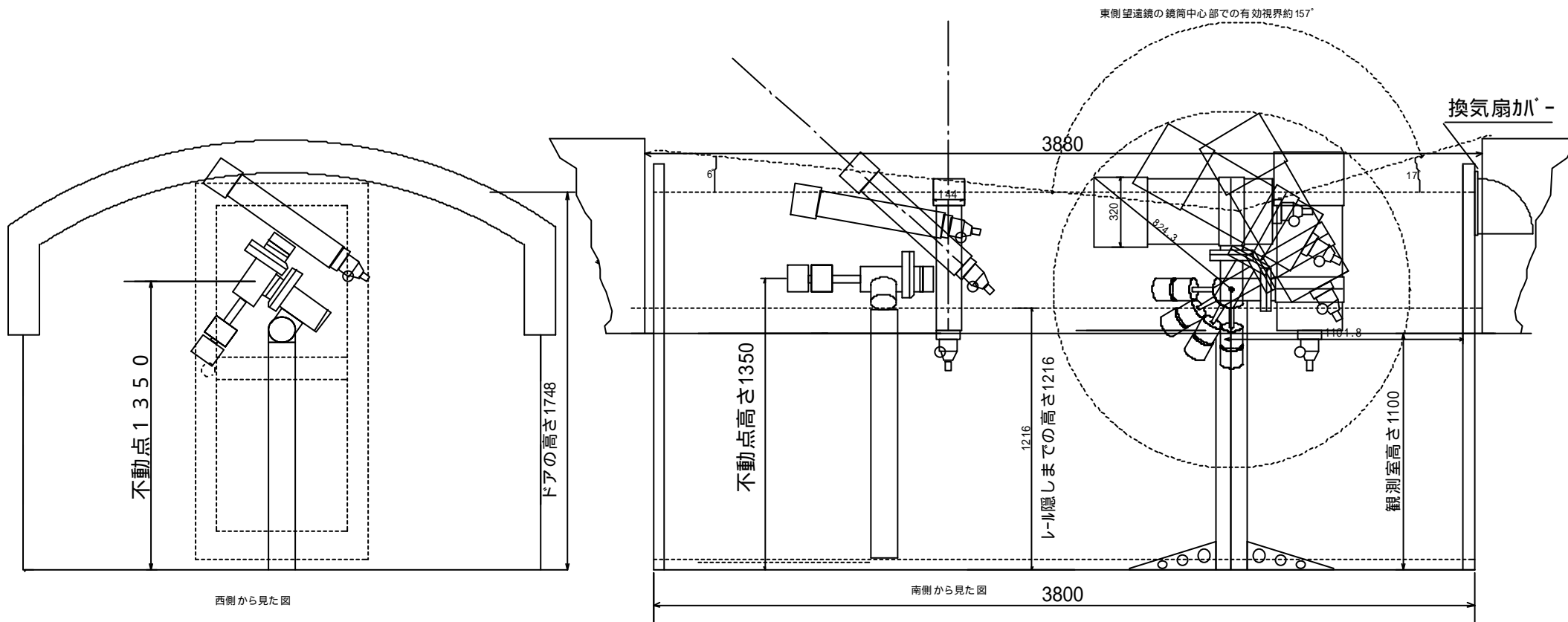


ドア側から見た図

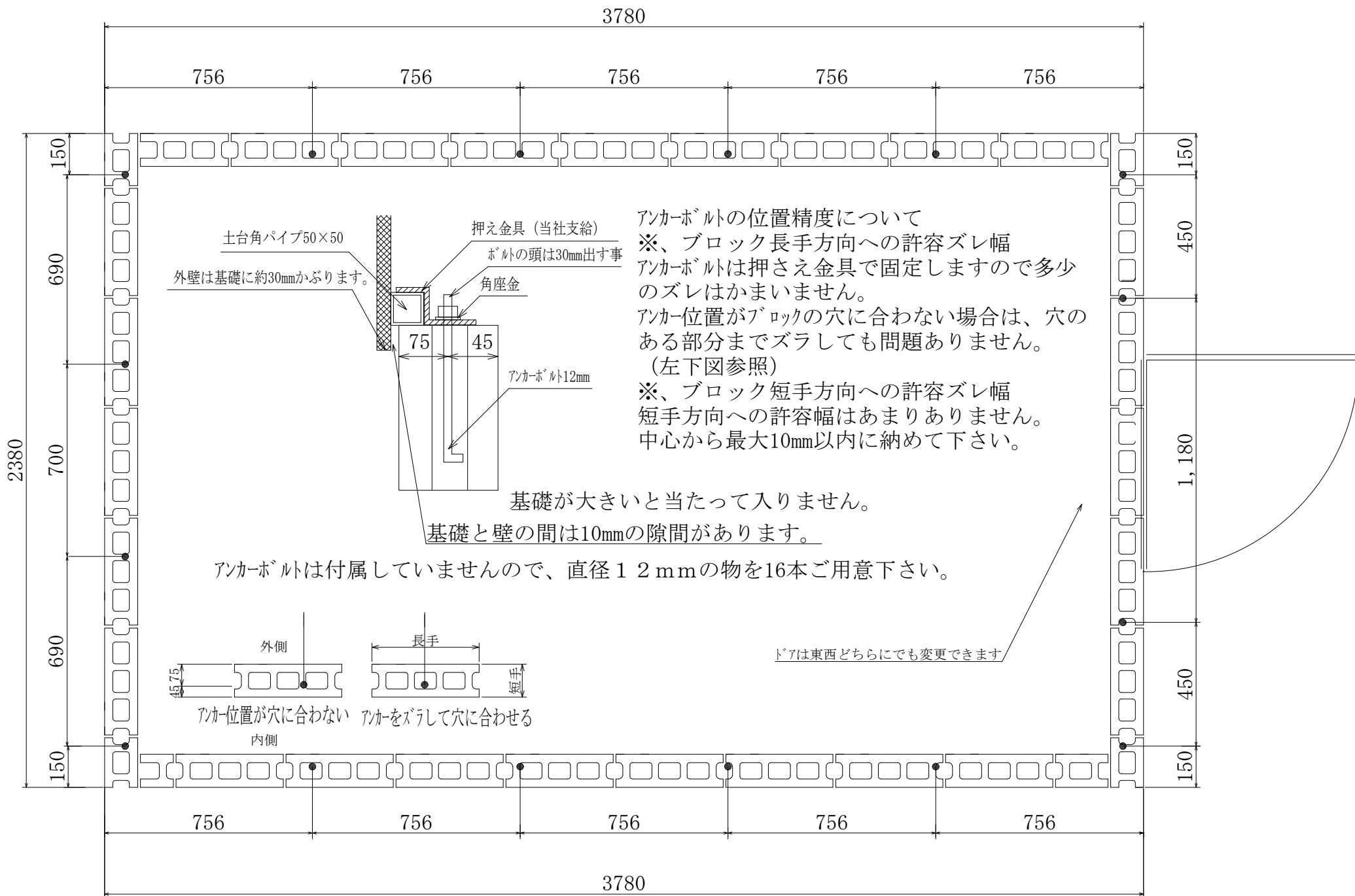


SRS2438

SRS2438 望遠鏡収納参考図



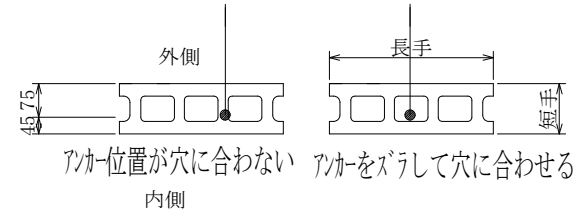
スライドローフの大きな特徴としてドーム型の観測室では出来ない望遠鏡を2台収納出来るメリットがあります。
 上の図はあくまでも参考図です。望遠鏡のメーカーにより寸法が様々ですので正確な図が必要でしたら望遠鏡メーカー・型式等をご連絡下さい。
 上図では、長手方向が南北に向くようになっています。粗なため東側の望遠鏡は東側のケル角度が大きくなります。西側の望遠鏡は西側のケルが大きくなる望遠鏡の位置によっては屋根を閉める際に鏡筒に当たることがありますのでお気をつけ下さい。
 ケル角度は東側の望遠鏡で東17度・西6度ケルです。



アンカーボルトの位置精度について
 ※、ブロック長手方向への許容ズレ幅
 アンカーボルトは押さえ金具で固定しますので多少のズレはかまいません。
 アンカー位置がブロックの穴に合わない場合は、穴のある部分までズラしても問題ありません。
 (左下図参照)
 ※、ブロック短手方向への許容ズレ幅
 短手方向への許容幅はあまりありません。
 中心から最大10mm以内に納めて下さい。

土台角パイプ50×50
 外壁は基礎に約30mmかぶります。
 押さえ金具 (当社支給)
 ボルトの頭は30mm出す事
 角座金
 アンカーボルト12mm
 基礎が大きいと当たって入りません。
 基礎と壁の間は10mmの隙間があります。

アンカーボルトは付属していませんので、直径12mmの物を16本ご用意下さい。



ドアは東西どちらにでも変更できます

スライドルーフSRS2438用基礎参考図面